

# 農林水産委員会 県内所管事務調査の概要

【平成28年5月11日（水）】

## ◆調査箇所：ハマノ果香園（国東市国東町小原）

＜概要＞

遊休農地を活用し、平成20年に基盤整備を行った全国一の規模を誇るカボス園（農地面積28.4ha）。

機械化による薬剤散布や施肥の省力化に取り組み、地元雇用にも貢献している。

平成27年の生産量は304トンと順調に生産量が伸びており、その取組状況について調査を行った。



＜主な質疑等＞

- ・販路について
- ・カボス残滓の活用方法について

## ◆調査箇所：東部振興局、果樹グループ

＜概要＞

東部振興局（管轄：別府市、杵築市、国東市、姫島村、日出町）及び農林水産研究指導センター農業研究部果樹グループから、組織及び管内の概要や農地中間管理事業などの主要事業、ハウスみかんの垣根仕立て栽培など重点研究課題の概要・進捗状況等について、調査を行った。



＜主な質疑等＞

- ・漁業の担い手確保について
- ・鳥獣被害対策の取組について
- ・農業農村整備事業の予算額について

## ◆調査箇所：JAおおいた加工野菜部会（国東市国見町櫛来）

＜概要＞

バジル、玉ねぎ、唐辛子等の加工野菜の生産技術の向上並びに生産農家の経営安定を目的として、平成10年に結成した農協部会組織。（会員62名）

くにみ農産加工(有)への原料供給を行っており、地域農業と食品産業の連携により優れた経営モデルとなっており、その状況について調査した。



＜主な質疑等＞

- ・GAPの取り組みについて
- ・平成27年度の減産要因について
- ・後継者について

【平成28年5月12日（木）】

◆調査箇所：地震被害等状況報告

＜概要＞

平成28年4月に発生した熊本地震による農林水産業の被害及び復旧状況等について、農林水産部から説明を受けた。

特に、農林水産業関連の被害額、金融支援策、営農指導等について具体的な対策を聴取した。



＜主な質疑等＞

- ・災害査定状況及び応急対策について
- ・水田の作付けへの影響について
- ・過去の災害事例を踏まえた復旧対応の改善点について

◆調査箇所：大分農業文化公園

＜概要＞

農業・農村の文化等に関して学習する機会を提供し、農業・農村に対する県民の理解を深めることを目的に平成13年に設置された施設。

指定管理者として3期目を迎える公益社団法人大分県農業農村振興公社が運営業務を行っており、集客拡大の取り組み等について、調査を行った。



＜主な質疑等＞

- ・運営委託料の状況について
- ・利用者の客層分析について
- ・設置目的に沿った運営について

◆調査箇所：堀農園株式会社（杵築市大田石丸野田）

＜概要＞

県北地域におけるホオズキ栽培の先駆者で、平成24年に株式会社となり、作付面積70a、出荷本数約5万本と、県内でトップクラスの規模である。

マーケットインの商品づくりとして、量販店の対応のため、茎の短い短茎ホオズキの栽培に取り組んでおり、その状況について、調査を行った。



＜主な質疑等＞

- ・販路について
- ・戦略品目の補助金について
- ・栽培に関する気候状況について

## ◆調査箇所：花きグループ

### <概要>

農林水産研究指導センター農業研究部花きグループから、組織の概要や研究・普及方針、ホオズキ・トルコギキョウ等の種苗生産技術の確立など重点研究課題の概要・進捗状況等について、調査を行った。



### <主な質疑等>

- ・特許の申請状況について
- ・輸入品との競争について
- ・優良種苗の配布方法について

【平成28年5月19日（木）】

## ◆調査箇所：経営体育成基盤整備事業（豊後大野市三重町芦刈）

### <概要>

豊後大野市三重町の芦刈地区においては、高齢化や担い手不足に対応するため平成17年に農事組合法人芦刈農産が設立され、麦、大豆等の受託作業を中心とした経営が行われている。

また農地集積を行うために経営体育成基盤整備事業が平成27年度から31年度まで行われる計画であり、区画整理等が実施されており、特に暗渠排水（FOEAS）の整備状況について調査を行った。



### <主な質疑等>

- ・吸水管の仕様及び施工方法について
- ・FOEAS柵の性能について

## ◆調査箇所：竹田市サフラン生産出荷組合（竹田市吉田）

### <概要>

日本一のサフラン生産地域である竹田市では、約100戸の農家により高品質なサフラン栽培が行われている。

昭和52年に設立された竹田市サフラン生産出荷組合が生産し、薬効のPR、加工食品による消費拡大の取り組み等がなされており、その状況について調査を行った。



### <主な質疑等>

- ・後継者について
- ・経営状況について



◆調査箇所：畑かんによる露地野菜栽培（竹田市菅生）

＜概要＞

大蘇ダム用水の受益地域における畑地かんがい営農を推進するため、竹田市西部地区営農振興協議会が設置されており、平成27年から本格的な活動が行われている。

かんがい用水を自走式散水機で散布することで、省力化、大規模化、生産増収等を図ることが出来るが、その取り組みの状況について、調査を行った。



＜主な質疑等＞

- ・阿蘇山噴火による降灰被害について
- ・周年雇用体制について

◆調査箇所：豊肥振興局、農林水産研究指導センター、県立農業大学校、豊後大野家畜保健衛生所、県中央空港管理事務所

＜概要＞

豊肥振興局（管轄：竹田市、豊後大野市）及び農林水産研究指導センター、農業大学校などから、組織及び管内の概要や鳥獣被害対策重点集落活動の推進などの主要事業、乾しいたけの生産振興などの重点研究課題の概要・進捗状況等について、調査を行った。



＜主な質疑等＞

- ・農業大学校生の基礎学力向上について
- ・県中央飛行場の利用促進について

【平成28年5月20日（金）】

◆調査箇所：センチピードグラスを利用した畦畔管理・鳥獣害対策（大分市野津原上詰）

＜概要＞

大分市野津原地区のほぼ中央に位置する上詰地区は、典型的な中山間地域である。水稻を中心として平成16年に農事組合法人「上詰アグリドリーム」を設立し、鳥獣害の共同防除、農作業受託、センチピードグラスの植え付け等を行っており、その取り組みについて、調査を行った。



＜主な質疑等＞

- ・鳥獣被害の状況について
- ・防護柵の施工方法について

#### ◆調査箇所：中山間地域総合整備事業（由布市庄内町小挾間）

##### <概要>

古井路管理組合が管理する約28haの農地を潤す水路は、土水路であるため漏水が生じており、用水量が減少し、土砂堆積も課題であった。

そこで平成26年度から28年度にかけてコンクリート水路を導入しており、用水の安定供給と維持管理労力の軽減を図っている。



##### <主な質疑等>

- ・水路工事の費用について
- ・農家の費用負担について
- ・農業水利施設保全合理化事業の予算について

#### ◆調査箇所：地域ため池総合整備事業（大分市久土）

##### <概要>

当地域のため池は老朽化が進み、堤体の浸食が進み漏水が発生し、災害時に決壊するおそれがあることから、平成25年度から28年度にかけてため池の全面改修を行うことで、下流域の安全確保を図っている。

その工事の内容について、調査を行った。



##### <主な質疑等>

- ・法面保護の耐用年数について
- ・タビリンス堰の設置効果について
- ・ため池の浚渫範囲について

#### ◆調査箇所：中部振興局、大分家畜保健衛生所

##### <概要>

中部振興局（管轄：大分市、臼杵市、津久見市、由布市）及び大分家畜保健衛生所から、組織及び管内の概要、熊本地震の被害・対応状況、集落営農の推進などの主要事業の概要・進捗状況等について、調査を行った。



##### <主な質疑等>

- ・畜産農家の高齢化について
- ・畜産技術の継承について
- ・ため池の危険度判定の調査状況について

【平成28年5月24日（火）】

◆調査箇所：農事組合法人 城村（佐伯市長谷）

＜概要＞

平成7年に設立した機械利用組合から、営農を継続する仕組みづくりや所得向上を目指し、平成18年9月には農事組合法人となった。

水田の区画拡大、花き栽培による経営複合化、特別栽培米の栽培、女性の雇用や、農地中間管理機構を活用した農地集積に取り組み、平成27年度の作業受託面積は水稻が14.2ha、麦が4.0haとなっている。



＜主な質疑等＞

- ・農業機械のオペレーター確保について
- ・後継者確保の状況について
- ・米の販路確保及び面積拡大について

◆調査箇所：水産研究部、大分県漁業公社

＜概要＞

農林水産研究指導センター水産研究部及び大分県漁業公社から、組織、基本方針、重点研究課題、種苗生産などについて、調査を行った。

また水産研究部からはヒラメのクドア食中毒など魚類の疾病に関する研究成果について報告を受けるとともに、施設内の研究施設、養殖イカダ等の視察を行った。



＜主な質疑等＞

- ・放流アユの県内産シェアについて
- ・種苗の単価について

◆調査箇所：南部振興局

＜概要＞

南部振興局（管轄：佐伯市）から、組織及び管内の概要や佐伯地域材の安定供給体制整備、佐伯地域戦略推進会議による地域振興、園芸品目の持続可能な生産体制確立などの主要事業等について、調査を行った。



＜主な質疑等＞

- ・農家所得の向上策について
- ・農地集積面積の目標値について
- ・米の販売戦略について



【平成28年5月25日（水）】

◆調査箇所：株式会社サニープレイスファーム（佐伯市女島）

<概要>

平成22年4月に設立され、平成23年3月から低段密植栽培による高糖度トマトの栽培を開始し、平成24年には1.8haに規模拡大が図られている。

20aのハウスを9ブロックに分けて順次栽培し、年間でそれぞれが約3回転することで、高品質なトマトを周年栽培することが可能となっている。

企業による農業参入の好事例として、雇用を含めて事業の状況について調査を行った。



<主な質疑等>

- ・トマトの受粉方法について
- ・販売単価、出荷先、輸送方法について
- ・今後の規模拡大について

◆調査箇所：株式会社兵殖（津久見市高洲町）

<概要>

ブリの養殖生産から加工・販売までを一環して行っている。他に類を見ない40m×60mの巨大いけす「ひろびろいけす」を使い、通常の3分の1の低密度で飼育することによって、良質なブリを生産している。

また平成11年に国際認証機関のHACCP認証を取得し、平成27年には対EU輸出水産食品取扱施設にも認定され、海外への輸出にも積極的に取り組んでおり、その状況について調査をした。



<主な質疑等>

- ・養殖漁場の漁業権手続きについて
- ・海外への販売方法について
- ・今後の販売展開にあたっての課題について

◆調査箇所：大分県農業協同組合 ピーマン広域選果場（臼杵市野津町野津市）

<概要>

平成27年度「強い農業・経営体づくり交付金」により、ピーマンの拠点選果場として整備がなされ、処理能力が1日あたり11.5トンから13.8トンに向上した。

またトレーサビリティシステムの導入、階級選別が出来る選別レーンの機能向上が図られ、栽培者の負担軽減や規模拡大、担い手の確保など、今後の展開が期待されている。



<主な質疑等>

- ・生産者の利便性向上について
- ・ピーマンの品質について
- ・農薬の適切な使用について

#### ◆調査箇所：広域農道 大南野津2期地区（大分市中戸次）

##### <概要>

当該地区は、県道坂ノ市中戸次線から国道502号間の広域農道整備事業（大南野津地区、全長1,273m）の2期地区として、平成21年度に採択され平成29年度に完成予定である。

1期地区は既に供用開始がされており、2期地区（1,481m）の重要部分である3号トンネルが貫通したことから、その進捗状況について調査を行った。



##### <主な質疑等>

- ・トンネルの掘削工法について
- ・掘削による湧水の状況について
- ・熊本地震の影響について

#### 【平成28年5月31日（火）】

#### ◆調査箇所：株式会社タカヒコアグロビジネス（九重町野上）

##### <概要>

次世代施設園芸導入加速化支援事業により国の支援を受け、先進地オランダの技術を取り入れた複合環境制御装置による大規模農業施設を整備し、地熱（温泉熱）を活用してパプリカの周年栽培を行っている。

地熱エネルギーを利用することで化石燃料を3割以上削減してランニングコストを減らし、また温室内の環境を全自動管理するシステムによって省力化・効率化を実現している。



##### <主な質疑等>

- ・地域住民の雇用状況について
- ・パプリカの販路について
- ・将来の生産拡大について

#### ◆調査箇所：西部振興局、林業研究部、玖珠家畜保健衛生所

##### <概要>

西部振興局（管轄：日田市、九重町、玖珠町）及び農林水産研究指導センター林業研究部及び玖珠家畜保健衛生所から、組織及び管内の概要や園芸戦略品目である梨や菊の生産振興、農業への企業参入の推進など、重点研究課題の概要・進捗状況等について説明を受けた。



##### <主な質疑等>

- ・再造林の振興について
- ・鳥獣被害の重点集落・予防強化集落について
- ・農業の企業参入及び新規就農の状況について



#### ◆調査箇所：JA玖珠九重 とまと選果場（九重町右田）

##### <概要>

当施設は昭和55年度に国庫補助を受けて整備され、その後九重町からJAに無償譲渡され、平成24年度には新たにトマト選果機の改修が補助事業により行われており、トマトの品質統一、ブランド力の向上が図られたところである。

しかしながら、今年4月に発生した熊本地震によって床面がひび割れ、筋交いが一部断裂し、基礎のズレも発生しており、その状況について調査を行った。



##### <主な質疑等>

- ・ トマト選果機の稼働状況について
- ・ 建物の被害状況について

#### ◆調査箇所：湯布院被災地視察

##### <概要>

今年4月に発生した熊本地震により、由布市内では水田畦畔や水路が数多く崩壊しており、一部の水田では田面の亀裂も発生している。

そこで、湯布院町下依地区、東石松地区を中心に被害状況の調査を行った。



##### <主な質疑等>

- ・ 畦畔の崩落状況について
- ・ 農地被害に対する行政の対応について

【平成28年6月1日（水）】

#### ◆調査箇所：浅海・内水面グループ

##### <概要>

農林水産研究指導センター水産研究部浅海・内水面グループについて、組織概要や種苗生産・増養殖の技術研究などの主要事業、アサリ養殖試験や外来魚・カワウ対策などの重点研究課題について説明を受けた後、試験研究施設を見学した。



##### <主な質疑等>

- ・ カワウ食害への対策方法について
- ・ マテガイの種苗生産について
- ・ アユの放流方法について

#### ◆調査箇所：大分味一ねぎトレーニングファーム（宇佐市上敷田）

##### <概要>

特産品である味一ねぎの担い手を確保するため、生産に必要な技術の習得をして定住につなげるため、JAおおいたが実施主体となり、平成27年7月に開校した。

研修期間は2年であり、現在は第1期生が2名、第2期生が3名、JA指導員の指導のもと技術習得に励んでいる。

青年就農給付金なども含め、就農支援の取り組み状況について調査を行った。



##### <主な質疑等>

- ・訓練生への生活支援について
- ・研修生が豊後高田市に来たきっかけ、情報源について
- ・こねぎ栽培の研修方法について

#### ◆調査箇所：北部振興局、水田農業グループ、宇佐家畜保健衛生所

##### <概要>

北部振興局（管轄：中津市、豊後高田市、宇佐市）及び農林水産研究指導センター農業研究部水田農業グループなどから、組織及び管内の概要や白ねぎ・いちご等の戦略品目の推進などの主要事業、水稲の乾田直播栽培など重点研究課題の概要・進捗状況等について、調査を行った。



##### <主な質疑等>

- ・地域特性を考慮した戦略品目の選定について
- ・樹園地再編整備事業の負担額及び新規就農者のフォローについて